

ICTソリューション異業種事例紹介セミナー

異業種から学ぶICT技術の活用事例

DX推進の取組みが加速する中、ChatGPTなどのAIやIoTといった新たなデジタル技術を活用して、どのようにビジネスを変革していくかといった経営戦略が求められています。本セミナーではそれぞれ異なる事業領域において、いかにデジタル技術を活用しているかを事例により紹介いただきます。皆様の変革への取組みの参考としていただきたいと思っております。

主催

(公財)京都産業21、京都府、京都府雇用創造推進協議会

開催日時

2023年12月21日(木) 14:00～16:25

ハイブリッド形式

開催場所

京都リサーチパーク 1号館4階 G会議室

募集人員

会場参加

20名

オンライン参加

50名程度

≫ DX、ICT利活用に興味のある企業等の方／求職者・転職希望者等の方

プログラム

〈 基調講演 [14:05～15:05]

同志社大学 理工学部 インテリジェント情報工学科
人工知能工学研究センター

教授/センター長 土屋 誠司 氏

「人に寄り添うAIの現在位置と様々なAIの社会実装事例」

〈 事例紹介 (25分×3テーマ) [15:05～16:20]

1 株式会社エムアールサポート

測量美術技術者 草木 茂雅 氏

「舗装修繕工事におけるICT活用【測量美術】」

2 北澤農園

代表 北澤 良祐 氏

「ICT技術を利用したミニトマトの生産とこれから」

3 綿善旅館

おかみ 小野 雅世 氏

「創業200年の旅館が始めたITとのお付き合い」

※セミナー終了後、会場にて名刺交換会を予定

登壇者プロフィール

同志社大学 理工学部 インテリジェント情報工学科 教授
人工知能工学研究センター センター長

土屋 誠司 氏

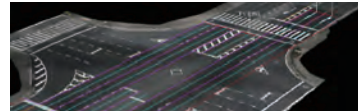
同志社大学大学院工学研究科 知識工学専攻博士前期課程修了。
三洋電機株式会社研究開発本部に在籍中に同博士後期課程修了。
徳島大学を経て、2009年から同志社大学。2017年から同教授。
2018年からは同志社大学人工知能工学研究センター長。博士(工学)。主な研究は、自然言語処理を中心とした常識を持った人と共存できるコンピュータについての研究。情報技術やAIに関する小学生から大人までを対象とした書籍多数。



株式会社エムアールサポート
測量美術技術者

草木 茂雅 氏

2000年1月13日生まれ。京都市右京区出身
2022年龍谷大学文学部歴史学科を卒業。同年4月自動車販売会社に営業職として入社。
2023年4月株式会社エムアールサポートに入社。主に全国各地で「測量美術」の営業活動及び、現場作業、データ解析を担当。



北澤農園 代表

北澤 良祐 氏

S57生まれ
H18 大阪産業大学経営学部卒業
H18 タイド一株式会社(機械工具商)入社
H21 退社 →就農
H22 トマト(土栽培)の栽培スタート
H25 養液栽培スタート
R1 ICT技術を利用した環境制御によるミニトマトの栽培スタート
R5 城陽市農業委員就任
・京都府城陽市にて現在ミニトマト20a、トマト10a (ICT利用ミニトマト20a)を中心に農業を行っている。
従業員3人、パート12人。



綿善旅館 おかみ

小野 雅世 氏

1984年京都生まれ。
立命館大学卒業後、メガバンクへ就職し法人営業部にて勤務。
結婚と退職を機に実家である綿善旅館に入り、観光庁の「旅館ホテル生産性向上モデル」に選出されたことを受け、業務効率化の成功事例として2017年に安倍元総理大臣前で発表。
2015年に綿善旅館若女将。
2021年に綿善旅館おかみ(代表取締役)となり現在に至る。



会場アクセス

京都リサーチパーク 1号館4階 G会議室

京都駅から

- JR 嵯峨野線(山陰線) 2駅(約5分)
「丹波口駅」下車 徒歩5分
- 京都市営バス 73、75号系統(約13分)
「京都リサーチパーク前」下車 徒歩5分

問合せ先

公益財団法人 京都産業21 イノベーション支援部
ATVK・先導プロジェクト推進グループ

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
Tel: 075-315-8677 e-mail: iot@ki21.jp

申込方法

Webによるお申込み

<https://www.ki21.jp/entries/view/index.php?id=215598>

>> 申込締切: 2023年12月15日(金)



京都の未来をつくる「DX人材育成×産業創発」プロジェクト とは

急激な社会変化やデジタル化に対応できるよう、産業政策と労働政策を一体的に推進し、府内企業における新たな価値や新ビジネスの創造、DX化を促進することで、さらなる産業活性化、生産性向上につなげ、質の高い雇用を創出します。